



吉松中学校 学校便り

ゆうすげ

令和5年度 2月号
 始良郡湧水町川西 2137 番地 1
 TEL (0995)75-2014
 FAX (0995)75-2555
 HP <https://www12.synapse.ne.jp/yoshicvu/>

「視点」を変える

校長 下小野田 秀樹

しばらく雨が続き、温かかったからでしょうか。校門の横にあるモクレンの花が咲いています。校内にある桜はもうしばらくですが、次の順番待ちをしています。3年生は公立高校の受検が直前に迫ってきました。

先日の全校朝会で、長瀬剛さんの歌から「気張れ!気張れ!気張いやんせ! 一度どま! け死んかぎい きばいやんせ!」とホワイトボードに書きながら、「今やっている努力は、自分が大人になるための土台になるんだ。みんなが大人になって、自分は気張ってなかったのに、後輩や自分の子どもたちに気張れと言えますか?」

受検勉強はきついでしょうが、これを乗り越えて一つ大人になります。あともう少し時間があります。3年生! 一度どま け死んかぎい きばいやんせ!と押し付けに近いエールを送りました。

さて、話題を変えまして、「木を見て森を見ず」ということわざがあります。本来は、物事の細部にみに気を取られてしまい、全体の本質を見失ってしまうことをいいます。

私がまだ教師になり始めの頃、先輩に「木を見て森を見ず、森を見て木を見ず」にならない様に気をつけなさい。と言われたことがありました。正確には「森を見て木を見ず」という言葉は存在しないようですが、例えば、一部の問題傾向のある生徒にばかり対応して、学級の生徒が置いてきぼりになっていないか?一方で、全体ばかり見ている、一人の生徒への対応を見逃していないか?というような戒めとして私の心に響いており、本質が何なのか考える際に時々思いだします。

しばらくしてから、「俯瞰(ふかん)する」という言葉にも出会いました。俯瞰とは、鳥のように高いところから広い範囲を見わたすというような意味です。木ばかり見ていると問題が解決せず、森を見るけど全体像が把握できないが、鳥の視点で俯瞰すれば広く物事がとらえられてゴールが見えることがあるということです。

多くの情報にさらされている現代だからこそ、自分のせまい範囲でモノを見て考えるだけで無く、見る範囲・物事を客観的にとらえ、視点を変えて見てみたらどうでしょうか。

新入生説明会

2月1日に令和6年度新入生17名のみなさんに向けて学校説明会を行いました。学校職員や生徒会役員が吉松中学校のことを説明し理解を深めてもらいました。施設参観では目をキラキラさせて見る姿がとても印象的でした。みなさんの入学を在校生、職員一同楽しみに待っています。



1年生社会人に学ぶ進路教室

2月2日に本校卒業生をお招きして、1年生を対象に進路教室をしていただきました。赤坂卓馬さんは「人生は一度きり。後悔がないように。」、手平成美さんは「頑張るときはいつも今。」というメッセージと共に、自分の歩んできたお話をしてくれました。とてもよい刺激を受けたようでした。ありがとうございました。



雪が降った日

1月24日は雪が積もりました。楽しく遊んでいました。



餅勸進文庫

先月号で餅勸進について紹介しました。本校図書館には昭和49年卒業生の先輩方から寄贈された餅勸進文庫があります。2月10日、本年度(昭和55年卒業生)の餅勸進実行委員の皆様から終了報告と共に、餅勸進文庫への寄付をいただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



学年PTA

2月9日は学校保健委員会兼家庭教育学級講演会及び本年度最後の学年PTAでした。学校保健委員会では鹿児島東部ヤクルトの鎌田瑞恵さんを講師にお招きして、腸内環境と体の関わりについてお話をしていただきました。学年PTAではどの学年も次年度に向けた話が多く、新しい年度の到来を感じます。1年の締めくくりの日となりました。たくさんのご協力、ありがとうございました。

3月の主な行事予定

日	曜	主な行事等
4	月	3年進路学習
5	火	公立高校入試(~6日) 2年ドリカムテスト(~6日)
8	金	クラスマッチ
11	月	卒業式予行・準備
12	火	第77回卒業式
13	水	公立合格発表
19	火	生徒朝会
25	月	修了式 離任式 掃除
26	火	春休み(~4月7日)